

10～12月は組織拡大月間です!

ご家族・お知り合いの先生を ご紹介ください

保険医協会は県下で7,200人以上の医師・歯科医師が入会し、開業医が安心して診療に打ち込めるよう支えあう、開業医自身がつくる団体です。医学の進歩と医療技術の向上、変化する医療制度への対応、怪我や病気など万が一の時の備えなど、開業医の診療、経営、生活を全面的にサポートします。勤務医の先生も県下で1,500人を超える先生方にご利用いただいております。

ご家族やお知り合いの先生で、まだ協会未入会の先生がいらっしゃいましたら、紹介状などのご協力を賜りますようお願い申し上げます。
お問い合わせ等は、組織部(Tel 078-393-1817)まで



幹事会だより

第363回 11月2日(木) いたみホール 参加7人

- ◆北阪神支部の会員数と組織率
11/1 現在 医科339人(74%)、歯科190人(59%)
- ◆情勢と医療運動対策
今年度支部総会(11/11)、新春政策研究会(1/20)、学術研究会(2/17)など支部企画について意見交換した。
- ◆当面の支部活動
1月20日 新春政策研究会「診療報酬改定(仮)」於・がんこ宝塚苑
講師 八木秀満先生(協会副議長、審査対策部副部長)
- ◆次回幹事会
12月7日(木) 14時30分～ いたみホール会議室2
お問い合わせはTel 078-393-1805 有本・小川まで

☆北阪神支部ニュースへの投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。
日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せください。
TEL 078-393-1805 / FAX 078-393-1802 e-mail arimoto@doc-net.or.jp 担当; 有本まで

兵庫県保険医協会

北阪神支部
ニュース

2017年 12月5日号 No.277
 発行者 兵庫県保険医協会北阪神支部
 支部長 中井通治
 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
 神戸フコク生命海岸通ビル5階
 ☎(078)393-1801 FAX(078)393-1802
 http://www.hhk.jp/

第32回支部総会

行政・企業・ボランティア 垣根を越え 健康長寿のまちを目指そう



医療・介護従事者、議員や自治体職員などそれぞれの立場から健康長寿のまちづくりを考えた

支部は11月11日に第32回総会を宝塚ホテルで開催した。記念講演として千葉大学予防医学センター教授の近藤克則先生が「健康長寿と社会参加～健康格差社会への処方箋～」をテーマに講演し、会員やスタッフ、自治体関係者ら50人が参加した。

近藤先生は、同じスポーツを行っている場合でも、サークルなど集団で行う人とサークルに参加せず単独で行う人を比較した場合、単独で行う人の方が、要介護状態の発生リスクが高いことを紹介。社会参加と健康状態の相関関係は明らかであるが、施設や企画など、誰が社会参加の場を提供するのが課題になっていると指摘した。

(次のページに続く)

(前のページより)

自治体だけではなく、企業、NPOなど多様な立場からの参加によって担い手の「縦割り」を超え、お互いの強みを出し合い社会的課題の解決を目指すアプローチ「コレクティブインパクト」が、健康格差の解消により大きな効果をもたらすことや、職業上のスキルや専門知識を生かしたボランティア活動「プロボノ」が注目されていると紹介した。



健康格差に関するさまざまなデータを使いわかりやすく解説

また、子ども期の経済状況が悪いと高齢期のうつ病の発生率が高まるなど、出生時や小児期の生物的・社会経済的な要因が後の健康格差を引き起こすと指摘。胎児期から高齢者まですべての世代に応じた対策が必要であり、社会参加や所得の保障などを定めたスウェーデンの公衆衛生法を紹介した。

日本老年学的評価研究が行う、各地域の健康課題を示す「地域診断書」によると、宝塚市は「不安や悩みを聞いてくれる人が身近にいる」と答えた人が他市町村と比較して少なく、うつ病に罹患する人の割合が高いとされている。近藤先生は、講演に参加した医療関係者、国会議員や県・市議員、市民にそれぞれの強みを生かした活動で、健康長寿の宝塚市をつくらうと呼びかけた。

参加者からは「地域で人と関わる機会や場所が多いほど人生が豊かになると思った」「医療や介護だけの視点ではなく大きな視点から考えるきっかけとなった」などの感想が寄せられた。

兵庫県保険医協会北阪神支部 <2017年度方針>

- 1 医療・社会保障制度の充実と、公的医療保険制度の拡充・矛盾点の改善を目指し、地域間の情報交換や情勢討議、会員・市民と対話する企画の充実をはかる。
- 2 「社会保障・税一体改革」に基づく社会保障切捨て施策の実行を阻止するために、地区医師会など他団体との懇談、交流を推進する。
- 3 老人会や自治会との語り合う会を開催し、予防医学的な健康増進の話とあわせて、医療改悪の実態を住民に広く知らせていく。ワクチンに関しても、エビデンスにもとづく情報を提供する。
- 4 会員拡大は、新規開業医を中心に組織率を上げていき、協会平均をめざす。また、支部活動活性化のため、医科・歯科若手役員の確保に努める。特に、川西市・猪名川地域での支部幹事発掘に努める。
- 5 在宅医療研究会、臨床研究会などを開催し、地域医療の連携をはかるとともに、医科・歯科一体の活動を強め、共通するテーマで研究会を開催する。
- 6 職員接遇研修会、医療安全管理対策研修会などをスタッフ研修の一環として開催する。
- 7 医院経営問題など、会員が共通するテーマでの会員懇談会を開催し、自由にディスカッションできる場をもつ。
- 8 会員や家族、従業員が気軽に参加できる、文化行事を企画する。
- 9 支部ニュースは、会員投稿コーナーなど内容の工夫もしながら、読まれる交流紙として紙面の充実をめざす。
- 10 社会保障をよくする伊丹の会・同宝塚の会に役員・事務局とも参画していく。
- 11 医療団体として、各地の平和運動や戦争に反対する取り組みに協力する。
- 12 原発問題について、学び、討議する。

兵庫県保険医協会 北阪神支部総会 選出役員

(地区・医科歯科別、五十音順、敬称略)

■支部役員

支部長 1人 中井 通治(宝塚市)

副支部長 4人 林 宗茂(伊丹市) 脇野 耕一(宝塚市)
川村 雅之(伊丹市・歯科) 西山 茂樹(伊丹市・歯科)

幹事 11人 太田 威彦(伊丹市) 大森 英夫(伊丹市) 小泉 勇(伊丹市)
城田 勲(伊丹市) 竹内 重人(伊丹市) 谷口 紀善(伊丹市)
上り口晃成(伊丹市・歯科) 工藤大八郎(伊丹市・歯科) 明渡 寛(宝塚市)
澤村 新(宝塚市) 高 俊永(宝塚市・歯科)

■評議員・予備評議員(医科)

評議員 3人 大森 英夫(伊丹市) 城田 勲(伊丹市) 谷口 紀善(伊丹市)

予備評議員 2人 太田 威彦(伊丹市) 明渡 寛(宝塚市)

健康情報テレホンサービス

通話料無料 (0120) 979-451



<12月のテーマ>

月曜日 ギザギザの光が見える病気
火曜日 インプラント治療
水曜日 海外から持ち込まれる感染症
木曜日 スキー・スノーボード外傷
金土日 脳疾患によるめまい

<1月のテーマ>

月曜日 性的満足が得られない方へ
火曜日 高齢者肥満に対する減量のすすめ
水曜日 おならのお話
木曜日 胃の病気は口臭に関係あるのか?
金土日 夜ぐっすり眠るために

【年末年始】12月28日～1月8日 入浴中の突然死